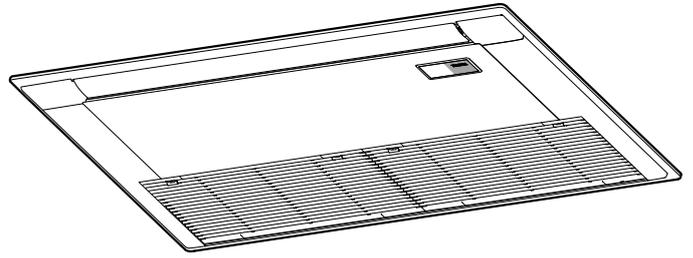


天井パネル  
 〈天井カセット形 1 方向吹出しタイプ〉

## 取付説明書

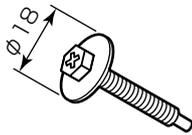
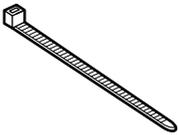
形名

**RBC-US21PG(W)-1**



このたびは東芝パッケージエアコン用「天井パネル」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。取付の前にこの説明書をよく読み、正しい取付を行ってください。

### 付属部品

部品名	取付説明書	座付ねじ	ねじ	ねじ	結束バンド
個数	1	4	2	2	1
形状					
用途	本説明書	M5 × 40L	4 × 12L アジャストキャップ 固定用	M4 × 35L パネル前後 中央部固定用	別売品ワイヤレス リモコン受信部 取付時使用

#### ◇お客様への引き渡し

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、室内ユニットの取扱説明書にそってお客様に使用方法・お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は室内ユニットの取扱説明書と据付説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

日本国内専用品  
 Use only in Japan

# 安全上のご注意

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## 表示の説明



### 警告

“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（\* 1）を負うことが想定される内容”を示します。



### 注意

“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（\* 2）を負うことが想定されるか、または物的損害（\* 3）の発生が想定される内容”を示します。

- \* 1：重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- \* 2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
- \* 3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

## 図記号の説明



### 禁止

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



### 指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



### 注意

△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

## 警告

- 据付は、販売店または専門業者に依頼する  
ご自分で据付工事を行うと、水漏れや感電・火災の原因になります。
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う  
据付に不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。
- 据付は、重量に十分耐える所に確実に行う  
強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する  
電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する  
接続や固定が不完全な場合は、火災などの原因になります。
- アースを必ず接続する  
アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。  
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



- 改造・修理は絶対にしない  
改造したり、修理に不備があると感電・火災の原因になります。



## 注意

- 据付作業のときは手袋（※）を着用する  
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）

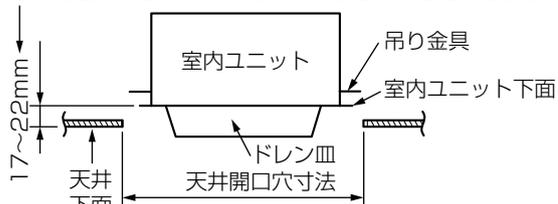


# 1. 天井パネル取付前の準備

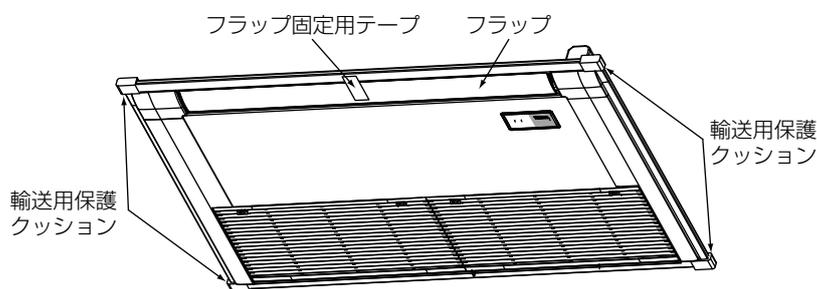
## 1. 室内ユニット位置の確認

1. 天井開口穴が下記寸法であるか確認します。  
1190mm × 760mm
  2. 天井下面と室内ユニット下面の位置が図 1 のようになっているか確認します。位置が合わないと風漏れや水漏れおよびフラップの動作不良などの原因となります。
- 天井パネルには、輸送保護用のクッション（4 個）と、フラップの固定用テープが貼り付けてありますので、必ず取りはずしてください。
  - 天井パネルを下向きに置くことや、立て掛け、突起物の上への放置は表面に傷が付きますので絶対にしないでください。

必ず室内ユニット下面と天井下面の寸法が 17~22mm の範囲に調整すること。この範囲が守られない場合、故障などの原因となります。



(図 1)

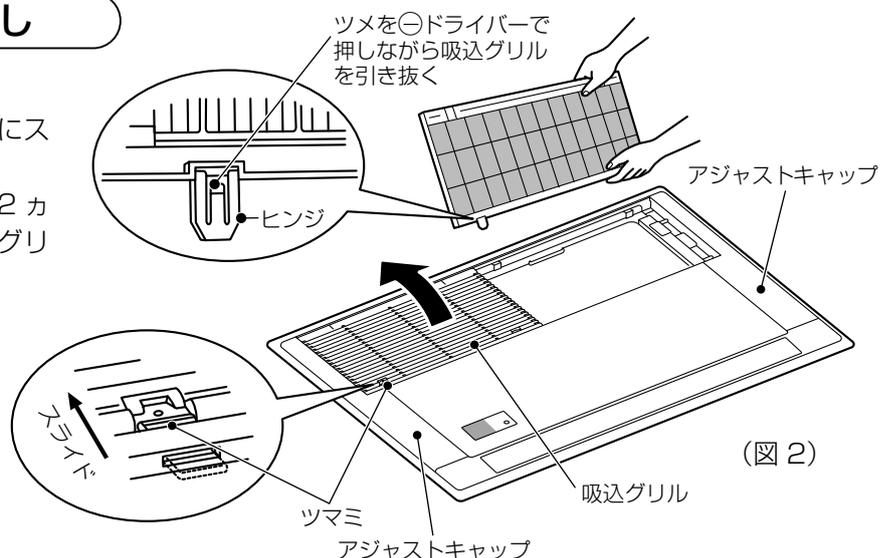


## 2. 室内ユニットへの取り付けかた

### 1. 吸込グリルの取りはずし

#### ■ 吸込グリル取りはずし

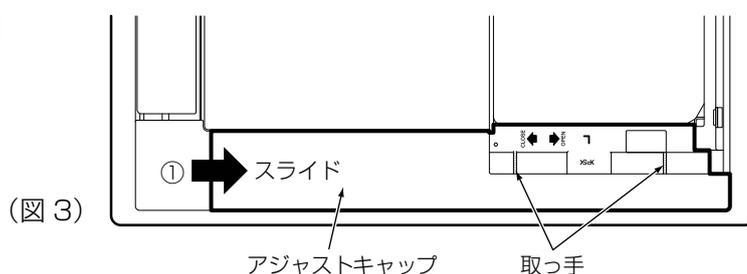
吸込グリルのツマミ（2カ所）を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ（2カ所）のツメを⊖ドライバーで押して吸込グリルを引き抜いてください。（図 2）



(図 2)

### 2. アジャストキャップの取りはずし

アジャストキャップの取っ手を持ち、吸込グリル側（矢印①）へスライドさせ、取りはずします。取っ手は 2カ所ありますので、作業しやすいほうを利用してください（左右 2カ所）。（図 3）

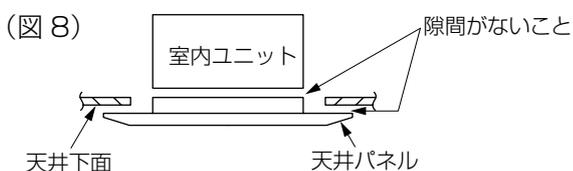


(図 3)

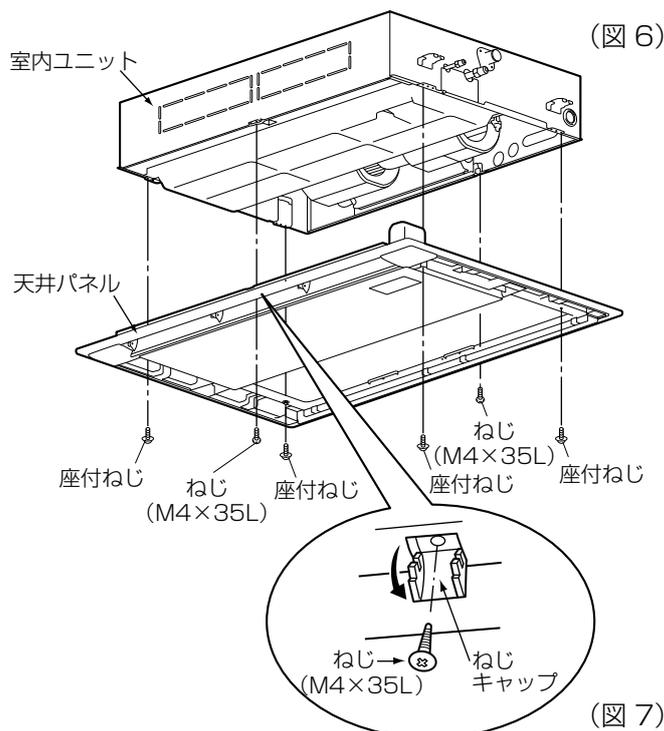
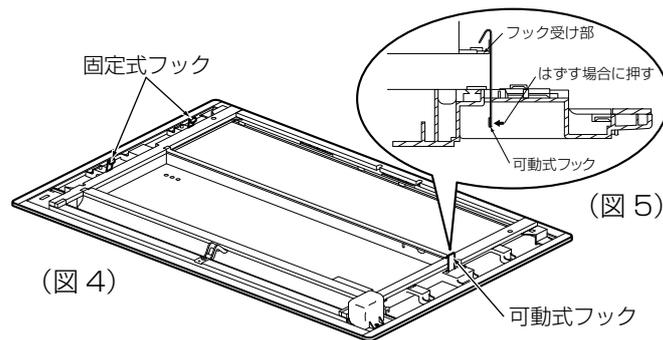
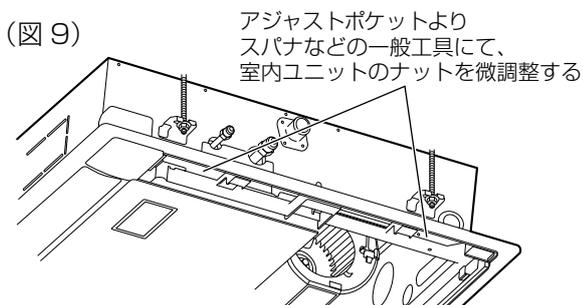
## 2. 室内ユニットへの取り付けかた (つづき)

### 3. 天井パネルの取付

1. 天井パネル両サイドに付いているフックを室内ユニットに引っ掛けます。フックは片側が固定式 (2カ所)、もう一方が可動式 (1カ所) となっています。(図4)
2. 天井パネルをやや斜めにして固定式フックを室内ユニット側面のフック受け部に引っ掛けます。
3. フックが掛かっていることを確認したら、もう一方を天井パネルが水平になるように押し上げ、可動式フックが室内ユニット側面のフック受け部に掛かるまで押し上げてください。
4. 天井パネル両側のフックが室内ユニットに確実に掛かっていることを確認してから手を放してください。これでパネルが室内ユニットに仮止めされました。
  - 取りはずす場合は天井パネルを支えながら可動式のフックを内側に押してください。(図5)
5. 天井パネルの取付穴と室内ユニットのねじ穴を合わせます。
6. 付属の座付ねじ (M5×40L) 4本とねじ (M4×35L) 2本で室内ユニットに密着するまで締め付けます。(図6)
  - ねじ6本は、仮止め後、配線の挟み込みのないことを確認し、座付ねじ (4本)、中央部のねじ (2本) の順に本締めしてください。
  - 吹出部中央はフラップを開き、図7のようにねじキャップを開け、ねじ (M4×35L) 固定後、閉めてください。
7. 天井パネルが天井に密着したことを確認します。
  - このとき、室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井下面との間に隙間がないようにしてください。(図8)



- 天井との隙間が生じた場合、天井パネルを取り付けたまま、室内ユニットの据付高さを微調整し、天井との隙間をなくしてください。(図9)



**ご注意**

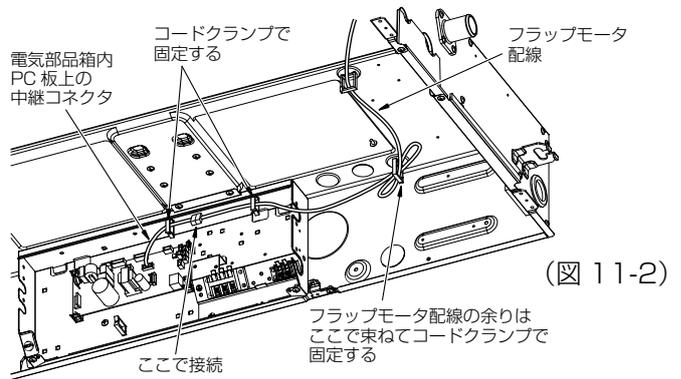
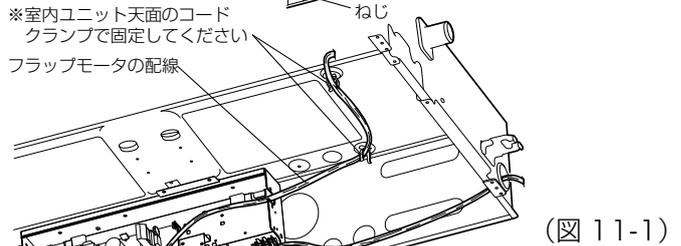
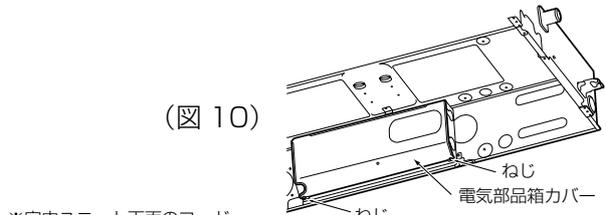
- ねじの締め付けが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締め付けてください。
- ねじを締め付けても天井下面と天井パネルとの間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。

室内ユニットの水平度、ドレン配管などに影響がでない程度であれば天井パネルのアジャストポケットより天井パネルを付けたまま室内ユニットの高さ調整ができます。

## 4. 天井パネルの配線方法

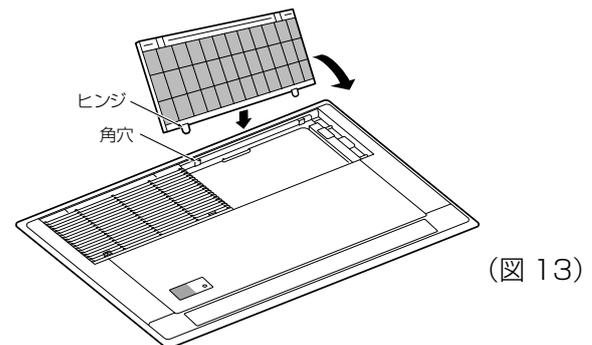
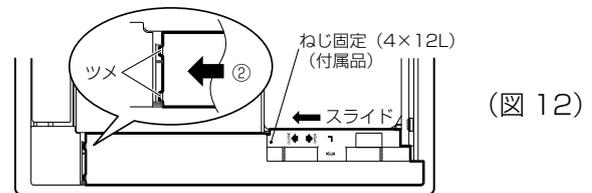
1. 電気部品箱カバーを取りはずしてください。(図 10)
2. 配線は取り付けの室内ユニットによって異なります。  
**(AP\*\*\*SHの場合)**  
天井パネルから出ているフラップモータ配線を室内ユニット天面のコードクランプ(2カ所)で固定し、図 11-1 のように配線のコネクタを PC 板上の CN33: 白(コネクタ 5P)に接続してください。  
**(RP\*\*\*SH, UP\*\*\*SHの場合)**  
天井パネルから出ているフラップモータ配線を室内ユニット天面のコードクランプ(2カ所)で固定し、配線のコネクタを PC 板上の中継コネクタ: 白(5P)に接続し、図 11-2 のように電気部品箱内のコードクランプで固定したのち、配線の余りは室内ユニット天面のコードクランプで束ねて固定してください。
3. 元通りに電気部品箱カバーを取り付けてください。
  - コネクタを接続しないと、フラップが動作しないので、確実に接続してください。
  - 配線が電気部品箱とカバーの間に挟み込まれていないことを確認してください。
  - 配線が室内ユニットと天井パネルの間に挟み込まれていないことを確認してください。

(図 10)



## 5. アジャストキャップ・吸込グリルの取付

1. アジャストキャップの取付
  - アジャストキャップのツメを引っ掛けるように吹出口側(矢印②)へスライドさせ、取り付けます。(図 12)
  - アジャストキャップを付属のねじ(4×12L)で固定してください。
2. 吸込グリルの取付
  - 取付方法は(1. 吸込グリルの取りはずし)の項と逆に作業を行ってください。
  - 吸込グリルを取り付けるとき、フラップモータの配線を挟み込まないように注意してください。(図 13)
  - 吸込グリルのヒンジは天井パネルの角穴に確実に奥まで差し込んでください。



差し込んだあと、吸込グリルを引っ張り、確実に固定されていることを確認してください。

## 3. その他

### A. 据付後の確認

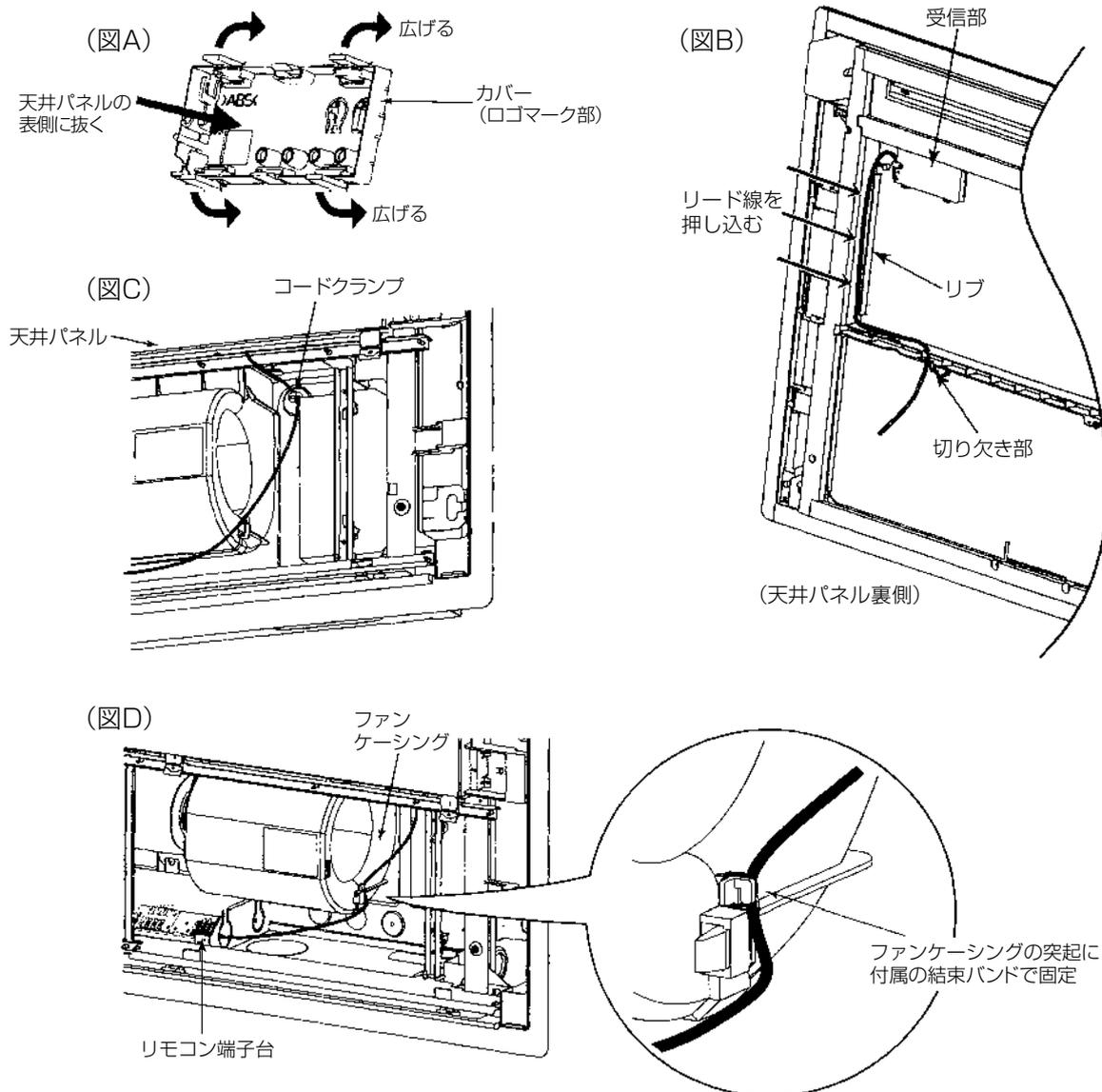
- 室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井下面に隙間のないことを再確認します。  
※隙間があると水漏れや露付の原因となります。
- 配線が確実に接続されていることを確認します。  
※接続されてないとフラップが動作しない原因となります。

### B. ワイヤレスリモコン対応の場合

- 取付方法の詳細は、別売品ワイヤレスリモコン受信部に付属の「据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ」を参照してください。
- 別売品ワイヤレスリモコン受信部は、天井吊形と同一品を使用しますので、受信部の取付方法は本説明書 6 ページを参照してください。

## 別売品ワイヤレスリモコン受信部の取り付けかた

1. 天井パネルに取り付けてあるカバー（ロゴマーク部）を広げながら、表側に抜きます。（図 A）
2. 受信部を天井パネルに取り付けます。（受信部の突起部が天井パネルのツメで固定されます。）
3. 受信部のリード線を天井パネル裏側のリブに沿って押し込み、切り欠き部に通します。（図 B）
4. 天井パネルを室内ユニットに取り付けます。
5. 天井パネルから出たリード線は室内ユニット天面のコードクランプで固定します。（図 C）
6. 受信部のリード線をファンケーシングの突起に付属の結束バンドで固定し、電気部品箱の下側の穴から引き込んでリモコン端子台に接続します。（図 D）



- 〈注 1〉 受信部のリード線は電源引込線などと一緒に合わせると誤動作の原因となりますので避けてください。
- 〈注 2〉 リード線がファンに巻き込まれないように、確実に固定してください。
- 〈注 3〉 ユニット電源からノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付けるなどの処置が必要です。  
 ※配線については別売品ワイヤレスリモコン受信部に付属の「据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ」を参照ください。  
 ※試運転については、室内ユニットに付属の据付説明書を参照ください。



# 東芝キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原 336 番地